

項目	これまでの取り組み・現状・課題	2024年度の取り組み	2024年度達成目標
連続当直を行わない勤務体制の実施	・複数医師シフトによる勤務体制によって、連続当直を行わない	・医師の充実	・当直回数の軽減
短時間正規雇用医師の活用	・育児、介護休業法による措置を活用した短時間正規雇用	・継続実施	・継続実施
医師事務作業補助者の配置	・3名配置(50対1加算) ・文書作成補助(介護、生保意見書、二次健診等) ・全国がん登録 ・オーダリングシステム、電子カルテ記載の代行入力	・医師のニーズに答える幅広い知識を持った人材の育成、確保	・業務範囲の拡大 ・4名配置(40対1加算)
医師・看護師等の業務分担(看護配置)	・新型コロナウイルス感染症への対策 ・急性期一般入院料1＝7対1配置の維持 ・地域包括ケア病棟入院料＝看護職員配置加算 ・救急外来＝救急搬送看護体制加算	・看護要員の増員	・継続実施
医師・看護師等の業務分担(認定看護師)	・脳卒中リハビリテーション看護、がん性疼痛看護、がん化学療法看護	・継続実施	・継続実施
医師・看護師等の業務分担(看護補助者)	・急性期一般入院料1＝25対1急性期看護補助体制加算 ・地域包括ケア病棟＝看護補助者配置加算	・事務的業務を行う看護補助者の配置	・看護職員が専門性の高い業務により集中することで、医師業務の負担軽減を図る
医師・看護師等の業務分担(診療放射線技師)	・診療放射線技師法に基づく業務	・告示研修の受講 ・看護師業務との役割分担	・業務範囲追加
医師・看護師等の業務分担(臨床検査技師)	・臨床検査技師法に基づく業務	・告示研修の受講 ・看護師業務との役割分担	・業務範囲追加
医師・看護師等の業務分担(臨床工学技士)	・臨床工学技士法に基づく業務	・告示研修の受講 ・看護師業務との役割分担	・業務範囲追加
地域の他の医療機関との連携体制	・紹介率、逆紹介率の向上により外来縮小に努める	・他の医療機関との機能分化、役割分担の相互理解を深める	・紹介受診重点医療機関
院内保育所運営	・2011年度より院内保育(未満児保育、病児保育)を開始	・継続実施	・継続実施
入退院支援業務	・入院早期から退院に向けた調整を実施 ・全病棟へ社会福祉士を配置	・社会福祉士の増員	・継続実施

項目	これまでの取り組み・現状・課題	2024年度の取り組み	2024年度達成目標
医療情報システム	・2012年度 電子カルテ稼働 ・2015年度 医学管理サポートシステム導入による代行入力開始 ・2018年度 電子カルテ更新 ・2019年度 内視鏡レポートシステム更新 ・2021年度 オンライン資格確認導入	・医療情報技師によるシステムの開発	・電子カルテシステム範囲拡大、機能追加等による負担軽減
チーム医療による医師のサポート	・栄養サポートチーム ・糖尿病合併症管理 ・医療機器安全管理 ・糖尿病透析予防指導 ・患者サポートチーム ・ニコチン依存症管理 ・リハビリテーション診療 ・がん治療連携指導 ・総合評価加算 ・二次性骨折予防継続管理チーム ・褥瘡対策チーム ・薬剤管理指導 ・外来化学療法 ・認知症ケアチーム ・感染症予防対策チーム ・呼吸ケアチーム ・周術期口腔機能管理 ・救急搬送看護体制加算 ・摂食嚥下支援チーム	・医師の負担軽減となる資格、施設基準の取得	・各医療従事者が専門性を発揮しつつ連携し、患者に応じた適切な医療を提供する